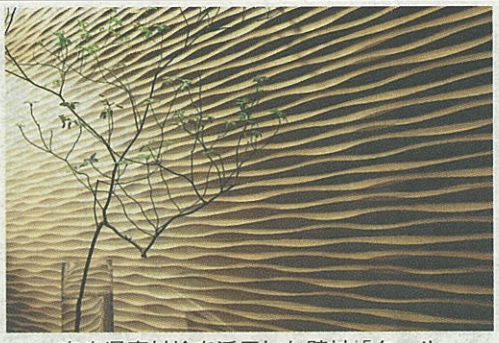
奈良県産桧を活用した壁材

奈良県と共同で開発

朝日ウッドテック



奈良県産材桧を活用した壁材「クールジャパン・ボーダータイプ桧」

朝日ウッドテック（大阪市、海堀哲也社長）は2017年2月から、奈良県産材桧を使った壁材「クールジャパン・ボーダータイプ桧」の販売を開始した。同製品は、奈良県と共同開発したもので、奈良県産桧の新商品開発が課題だった同県と、外材から国産材への転換を図る同社の方向性が一致したことから実現した。同県は、15年度に研究開発費の約半分を補助し共同開発が始まった。

同製品は、クールジャパンシリーズの一つで、初めて奈良県産材桧を使用。6枚の桧ムク材を重ね合わせた集成材で、サイズは厚さ27×幅171×長さ3000ミリ。表面は柾目で、長さ方向に沿って3パターン（ソフト・ウェーブ、ストレート・デコラ、ストレート・リブ）のデザインをそろえている。

特徴は、緻密で均一な年輪が生み出す美しい直線の木目と、色つやが良く桜色のような淡い赤みを帯びた奈良県産桧材の美しい色合いを生かした高い意匠性だ。

特に桧の細胞内腔や細胞壁が水分を吸・放湿し、室内の湿度変化を抑えるなど、ボーダータイプは調湿機能を最大限に生かすために厚み（27ミリ厚）を持たせたデザインとなっている。また、壁から浮かせてすき間を作って施工することで、表面や側面だけでなく、裏面からも吸・放湿することで調湿性能を高めているほか、取り付けブロックの向きを変えることで2ミリ、ボータータイプの2種類の目地幅を設定できる。特に10ミリ目地幅では、調湿機能を最大限に引き出すことが可能だ。

床材は27都道府県で製品化

公共・商業施設での販売を強化

大建工業

大建工業（大阪市、倉吉市）で最終的にフローリングにした。小規模コンサートホールには、同産オーク（2ミリ厚単板）をWPC加工し、基材に南洋材合板（12ミリ厚、カポール7層）を使っている。

このみなとモデルのような需要に対応したフローリングが「コミュニケーションタフDW（地域産材対応ツキ板）」で、大建工業は公共・商業施設での販売を強化しており、これまでに27都道府県で製品化している。同製品は、個別受注で物件対応だ。

表面単板（0・3ミリ厚程度）樹種は杉が多く、そのほか桧や一部ブナなども使用。WPC加工とUV抗菌耐磨耗塗装を施すことで、針葉樹でも強度には問題が生じない。

一方で壁材は、ダイライトを基材に地域材の薄板を練り合わせて表面塗装を施した「不燃パネル」だ。同製品も個別受注の物件対応で、これまでに6都道府県にある施設等に納めている。厚さは6ミリでサイズは3×6判。不燃の認定番号を取得しているため表面材は桧と杉、長野県産クリ。壁材以外にルーバー材にも使用している。

大崎産杉を活用したWPCフロアが大崎市図書館（宮城県）で採用された

これまでに北陸新幹線の黒部宇奈月温泉駅（富山県）の壁に「富山県産スギ不燃化粧パネル」を約400平方㍍納めたほか、宮城県の大崎市図書館には壁材として「大崎産スギ不燃パネル」と、床材には同様に大崎産杉ツキ板を使用したWPCを納品している。

大径材でJAS構造材普及

行政とともに林業再興へ

紅中

丸太状熱処理併用複合乾燥を施した杉丸太

紅中（大阪市、中村晃輔社長）は、熊本県奥球磨地域（湯前町・水上村）で国産材品質表示推進協議会SSDプロジェクトを展開している。同社が幹事を務めながら地元の林業と木材関係者、さらに行政が加わって組織され、JAS構造材の普及に努めている。同地域は2018年に林業成長産業化モデル地域に採択され、当該取り組みも評価の対象となっている。

同地域を含む南九州は樹木の生長も早く、球磨杉・球磨桧に代表される大径材の産地として知られている。しかし、梁桁等の平角材需要が外材・集成材に移行するなど、大径材の需要先が縮小していることが課題となっていた。

そこで同協議会は独自開発した「丸太状熱処理併用複合乾燥法」を大径材に施した芯去り製材によって付加価値構造材の開発に取り組んだ。14年春には球磨プレカットで、念願だったJAS機械等級区分構造用製材を取得した。

丸太状熱処理併用複合乾燥法は、水蒸気でなく燻煙ガスを熱媒体に活用することで芯部まで確実に熱処理でき、材温80度以上40時間の熱処理を実施している。この条件は丸太の時点で木材の内部応力をあらかじめ緩和させることを目的としている。また、燃料に木質バイオマスを採用し現実的価格での供給を可能にしている。さらに、芯去り製材時に発生する端材を無節の製材製品などに活用した高い歩留まり率で、球磨杉・球磨桧に付加価値を生み出してきた。

16年3月にはJAS規格の杉・桧芯去り製材品を採用した福祉施設が大阪府守口市に完成した。木材活用優良施設コンクールで表彰され、林野庁のホームページでも紹介されている。住宅分野でもJAS材と構造計算による長期優良住宅対応の手法を住宅誌にて掲載された。

今後は、産地において生産体制強化が決まっており、供給量の拡大を図る方針。非住宅分野に取り組むプレカット工場や、国産ムク材の金物工法を採用するなど部材品質にこだわる住宅メーカーやビルダー等を対象に、JAS規格の芯去り製材品の普及促進を加速させる考えだ。

日光杉追柾フローリング発売

変形収縮抑える特殊な木取り

田村材木店

日光杉の追柾フローリング。先月末東京で開かれたモクコレでお披露目した

田村材木店（栃木県日光市、田村文宏社長）は、日光杉の追柾フローリングを開発し、先月末に東京で開かれたモクコレでお披露目した。フローリングに人気の厚み15×幅110ミリサイズで、長さは輸送しやすい1820ミリにそろえ、遠方からの需要にも応えていく考えだ。

追柾は板目で取った原盤を挽き直す際、芯を中心に挽くのではなく、側にそって挽くことで芯部分を取り除く特殊な木取り。熟練の技術が必要で、手間がかかり歩留まりも落ちるため、一般的に使われることは少ない。

しかし、芯材を除くことで板目に比べ変形収縮を少なく抑えることができ、狂いにくい杉ムクフローリングを提供することができる。中心部に比べ辺材部分は節が少ないため、無節や節の少ない製品をそろえやすくなる利点がある。

従来から同社が提供してきた杉赤身柾目のフローリングに比べ量をそろえやすく、価格を抑えられることから、柾目のみでは応え切れなかった需要に幅広く対応していきたい考えだ。

キノウを超える、ミライへ。
DAIKEN
大建工業株式会社

since1870
ikuta
corporation
株式会社 イクタ

木を活かし、よりよい暮らしを
EIDAI
永大産業株式会社

厳選商品の『即納』を実現。
NODA
レギュラーズ セレクション
REGULARS
お客様のご要望の多い建具・収納・床材を厳選して常備在庫品として即納できる体制を確立しました!

木と人がつながる未来をつくる。
WOODTEC
朝日ウッドテック株式会社
https://www.woodtec.co.jp

収納生活
NANKAI
南海プライウッド株式会社

共に挑み、明日を創る。
70TH ANNIVERSARY
チヨダウーテ
www.chiyoda-ute.co.jp

道産針葉樹合板
丸玉木材株式会社
http://www.marutama-ind.com

美しさと強さの
TOYOTEX
http://www.toyotex.co.jp